

うめきた2期のイノベーションプラットフォーム

プラットフォーム施設

総合コーディネート機関や国等のイノベーション支援機関などが入居



イノベーション施設

プラットフォーム施設と連携する企業や施設が入居

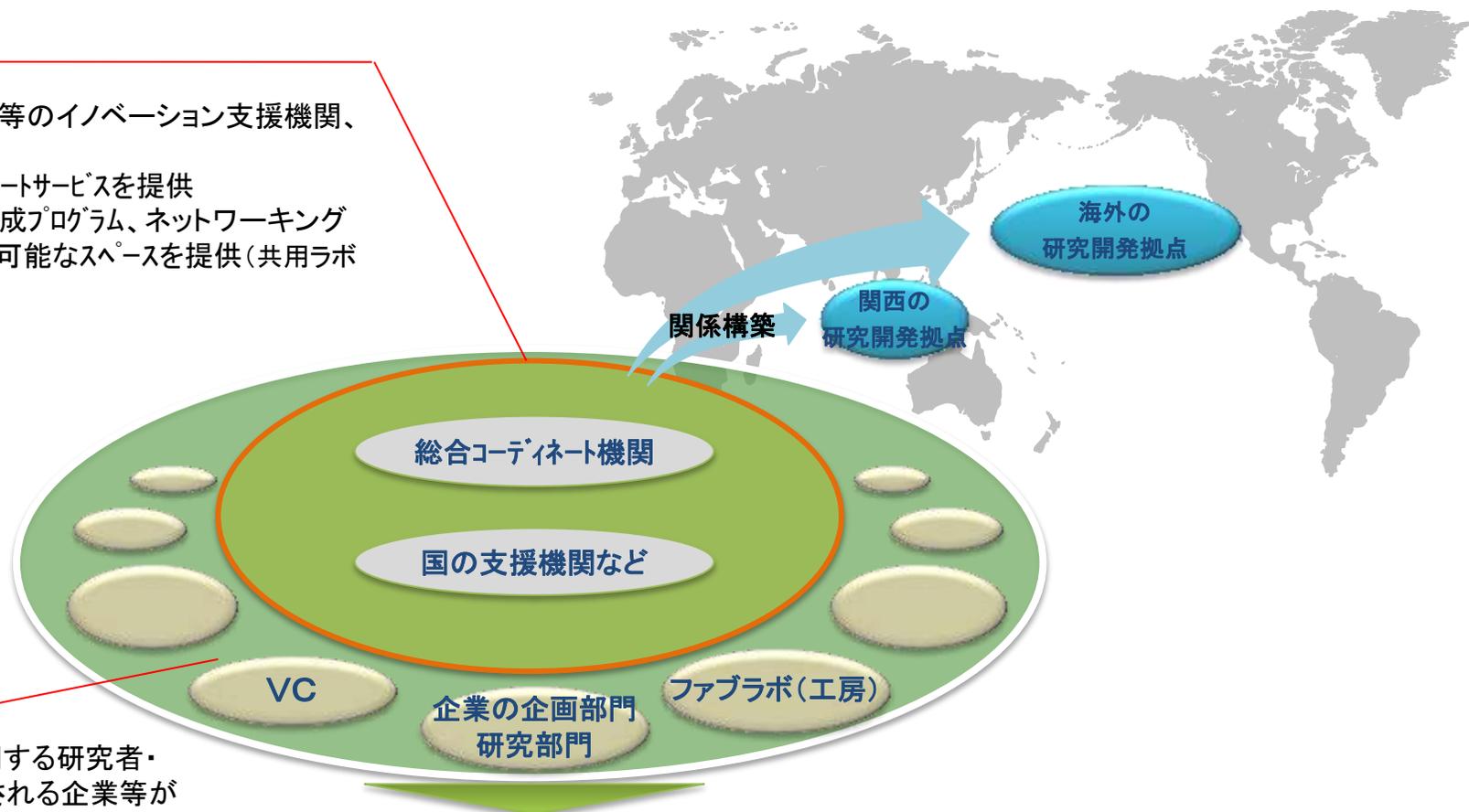
■プラットフォーム施設

総合コーディネート機関や国等のイノベーション支援機関、などが入居

- ・利用者に対しては、コーディネートサービスを提供
- ・研究開発プロジェクト、人材育成プログラム、ネットワーキングなど、様々なユーザーが利用可能なスペースを提供(共用ラボや講義室・会議室等)

■イノベーション施設

- ・プラットフォーム施設を利用する研究者・事業家等との協業が期待される企業等が参画(民間開発事業者による提案)



研究開発型イノベーションの創出

プラットフォーム施設

□プラットフォーム施設とは

総合コーディネート機関や国等のイノベーション支援機関が立地し、イノベーション創出のためのワンストップ窓口となる、イノベーションプラットフォームの中核施設

【総合コーディネート機関の設置】

プラットフォーム施設の中心的役割として「世話役」組織を設置することで、新技術を持つ研究者や事業家など多様な人材を繋げ、研究開発などのプロジェクト創出をコーディネートする

【イノベーション支援機関の集積】

力のあるファンディングエージェンシー等を誘致・集積することで、研究者等が必要な資金等を獲得し、プロジェクト創出や事業化に挑戦できる機会等を増やす

【研究開発プロジェクトの活動の場】

フレキシブルで質の高い共用施設を用意することで、研究開発資金を獲得した産学連携プロジェクト等が一定のプロジェクト期間中滞在し、活動を行う場を提供

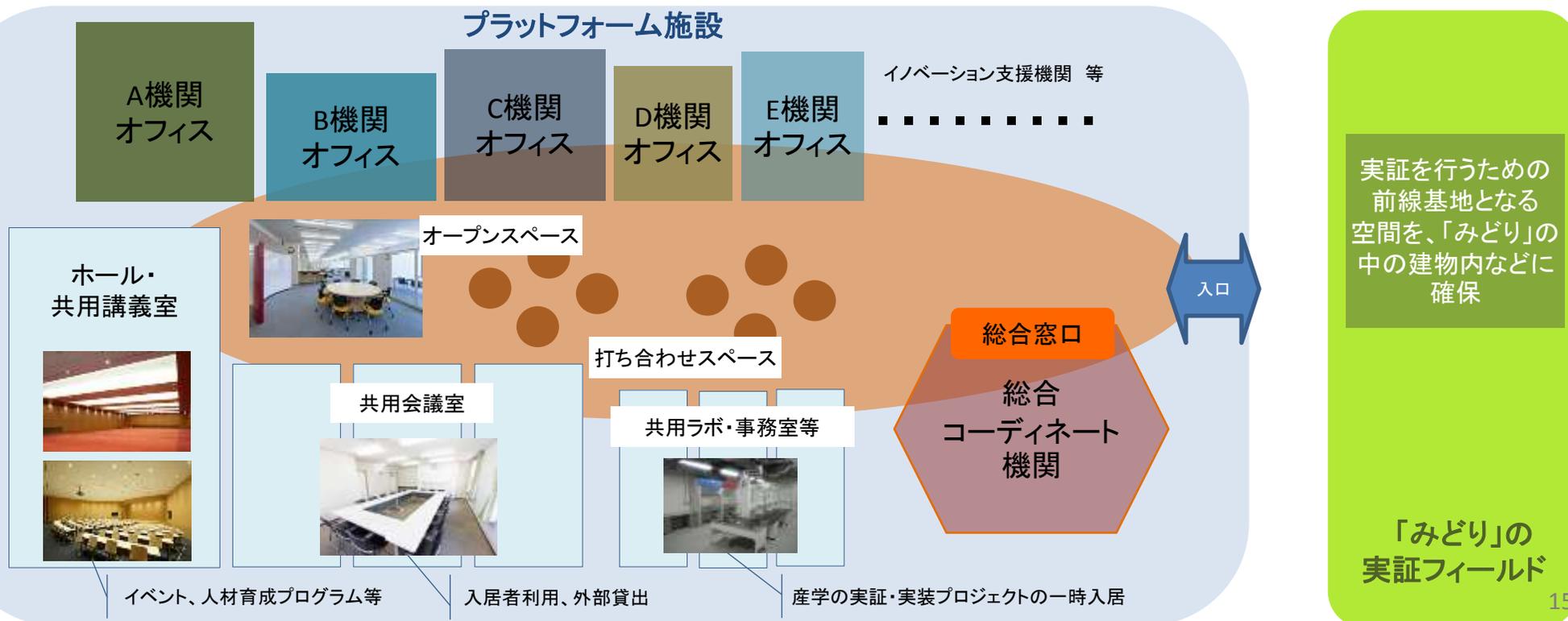
【人材育成プログラムの実施】

教育・研究機関との連携によるイノベーション活動の現場での人材育成プログラムの実施等により、実践的なプレイヤーを輩出

プラットフォーム施設

□プラットフォーム施設の利用イメージ

- 総合コーディネート機関や国等のイノベーション支援機関の職員等が常駐し、各機関のオフィスや共用会議室等を使って、それぞれの機関の活動が日々行われている。
- 上質で快適な共用部のオープンスペースや打ち合わせスペース等では、異なる入居機関の職員や訪れた施設利用者が、自然にかつ気軽に集い、情報交換などを行っている。
- 共用ラボでは、国の競争的資金を獲得した産学のプロジェクトチームなどが、事業化をめざした研究開発を行い、屋外の「みどり」では、データ収集など実証研究が行われている。
- 共用講義室では、複数の大学が連携した人材育成プログラムなどが行われている。



イノベーション施設

□イノベーション施設とは

イノベーション施設は民間事業者の自由な提案により実現する施設であり、プラットフォーム施設を利用する研究者等との協業を行う企業やイノベーション創出を促進するファシリティ等である。

□イノベーション施設・期待する役割の例

- ・企業の新規事業開発部門等が進出・入居し、プラットフォーム利用者との共同開発や販路提供などの協業が行われることで、出口に向けて事業化が促進される
- ・ベンチャーキャピタルやデザイン会社、コンサルタントなどが近接立地することで、新規事業に必要なサービスや資金等の獲得が促進される
- ・3Dプリンター等の各種工作機械を利用して、低コストかつ速やかなトライ&エラーを通じてアイデアを形にできる。また、そこに集まる異業種人材やクリエイターと共創して、新たなアイデアの発想やものづくりに取り組むなど、ものづくりへのチャレンジが促進される
- ・語学や経営学などの人材育成機関が入居することによって、志を持ち、イノベーション活動に挑戦する人材の集積が促進される
- ・施設のフレキシブルな活用によって、展示会やシンポジウムが開催され、うめきたの情報が広く国内外へ発信されるとともに、人材が集積する

新産業創出のテーマ「ライフデザイン・イノベーション」

ライフスタイル

QOLを支える
製品・サービス 等

ウェルネス

心と体の健康増進につながる
製品・サービス 等

エデュテインメント

楽しみと学びを実現する
イベント・プログラム 等

イノベーション創出

産・学・官・民による「健康×IoT」創造

「みどり」

うめきた2期

市民・ユーザーとの接点

大学・研究機関

企業・起業家

想定されるプロジェクト①

□開発プロジェクト例

■ウェルネス

- ・産学連携により医療現場のニーズを発掘し、異分野企業の参画を得て、画期的な培養機器や治療補助器具を開発するプロジェクト

■ライフスタイル

- ・快適、不快等の感覚を脳から情報として読み取る技術の開発者と、モノづくり企業やアパレルメーカーの協業により、屋外でも快適な活動を可能とする、衣服と一体化した個別空調(ウェアラブル空調機器)を開発するプロジェクト

■エデュテインメント

- ・食品メーカーと脳科学者の協業により、食事の際に感じる「美味しさ」の脳波データの分析・蓄積による、科学的根拠に基づいた食材・食品の紹介サービスを開発するプロジェクト

想定されるプロジェクト②

□実証研究プロジェクト例

■ウェルネス

- ・ジョギングやテニスなどを楽しんだ後、「みどり」のなかでリラックスしながら、簡易接触型の脳波測定技術や呼気センサーによるストレスセンシング技術を用いたプロトタイプの製品を試し、健康増進に役立てる実証を行うプロジェクト

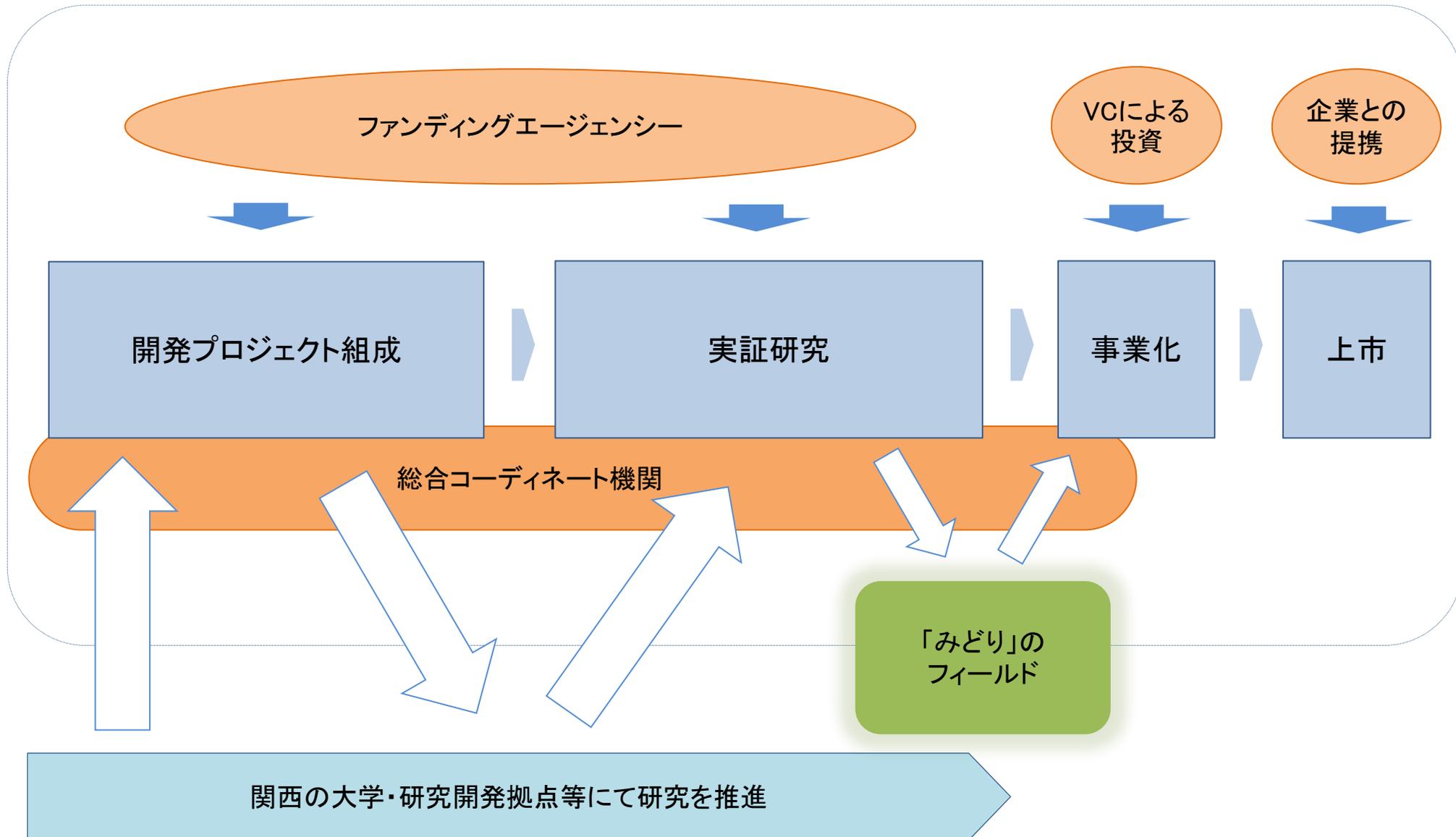
■ライフスタイル

- ・子どもたちに屋外の「みどり」で楽しく安全に遊んでもらい、活動(スポーツ等)による疲労を測定。疲労からの回復をサポートするウェア開発等を行い、子どもの健康的な発育を促進するプロジェクト

■エデュテインメント

- ・米テキサス州で実施されている「サウスバイサウスウエスト」のように、研究者やクリエイターなどによる新技術の発表やプレゼンを、地域の「お祭り」として、屋外の「みどり」を活用して実施するプロジェクト

イノベーションプラットフォームの活用例



まちびらきに向けた取り組み

将来のまちの参画者・利用者の人的ネットワークの形成
イノベーション支援機関や、大学等が行う人材育成プログラムの誘致促進



□先行的取り組み

- 国内外へのプロモーション

(例)うめきた2期でのイノベーション活動の成果をイベント等を通じて情報発信
まちの機能や魅力を向上し、国内外から研究者や事業家を呼び込むとともに、
海外のイノベーション拠点との連携を推進

- イノベーション創出につながる事例づくり

(例)大学や研究開発拠点の技術に基づく社会的インパクトのある新商品等を開発
するプロジェクトの立ち上げ

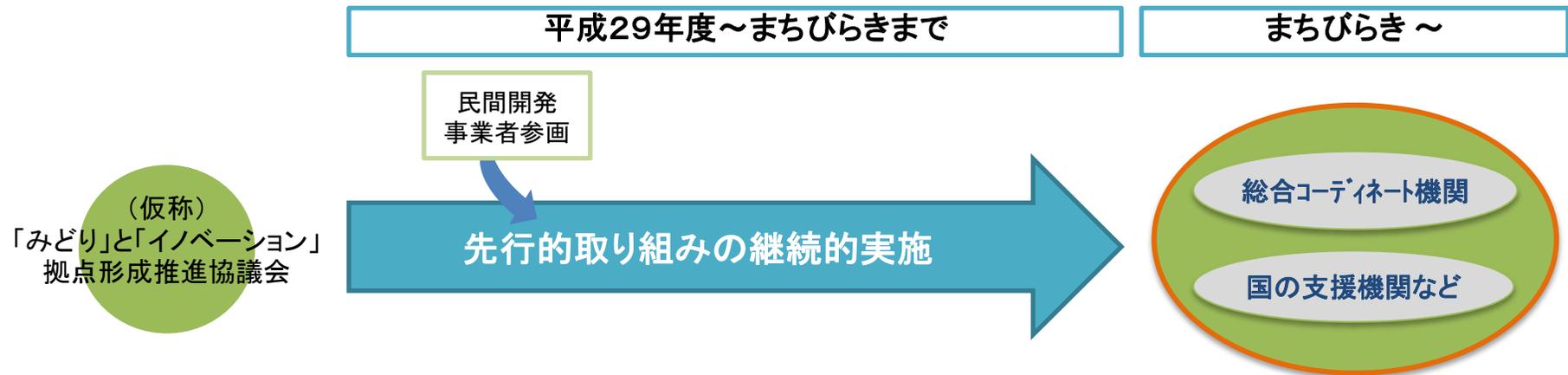
- 「自らイノベーションに取り組みたい」と考える人材を増やす

(例)大学等の人材育成や交流プログラムとの連携

“うめきた”のまちびらきまでのプロセス(案)

地域の取り組みにより協議会を立ち上げ、協議会メンバーが共同でまちびらきに向けての先行的取り組みを推進する。

□総合コーディネート機関設立のプロセス



- 中核機能の実現のため経済界及び行政等が「(仮称)「みどり」と「イノベーション」拠点形成推進協議会」を創設

□平成29～まちびらきまで

- 協議会にて、総合コーディネート機関の組織体制や活動内容、プラットフォーム施設の構成等について協議・検討
- イノベーション支援機関の誘致促進や将来のまちの参画者・利用者の人的ネットワークの形成
- コンペ後、民間開発事業者が協議会に参画

□まちびらき～

- 総合コーディネート機関が本格的活動を開始(協議会活動から移行)
- 国のイノベーション支援機関などが立地し、プラットフォームを形成